

◆第3回地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定委員会 議事内容◆

○質疑応答 主な質問と回答の概要については、次のとおり。

★第3章 エネルギー消費構造（追記・修正分）について

《Q1》1990年の内灘町のCO₂排出量を石川県の数値から按分して推計した結果、2008年と比べて32%増となっているが、この間当町では極端な人口増加が見られたわけでもなく、産業構造も変化していない中で32%という数字の根拠はどのようなものか。

【A1】石川県と金沢市におけるCO₂排出量の最新のデータによると、石川県では1990年比24%の増、金沢市は23%の増となっている。部門別CO₂排出量の伸びの比較を行ったところ、内灘町の場合は民生家庭部門の伸び率が高く、逆に全国的に削減率の大きい産業部門（製造業、建設業等でのエネルギー消費）の排出量が相対的に少ないため、相殺されずに1990年度比32%の増加という数字になっている。

《Q2》他自治体の同ビジョン等では、CO₂排出量の基準年度をどう扱っているか。

【A2】エネルギービジョンの策定目的は、第一義として新エネルギーや省エネルギーの導入目標を決めることであり、CO₂排出量は付随したものである。基準年度を何年にするかは各自治体によって異なっている。

《Q3》内灘町においては、あいまいな1990年の数値よりも、根拠の確かな2008年の数値をもって基準年度としたほうが良い。国と石川県の目標設定が違うように石川県と内灘町が違っていても差支えが無いのではないか。

【A3】国のCO₂排出量25%削減という目標には、森林吸収分や排出権取引といったものがすべて含まれているが、その具体的な方針が示されている訳ではないので、本ビジョンでは内灘町としての考え方で目標設定をしたほうが良い。

★第6章 基本理念・基本方針について

・事務局から報告書の章立てを次のように変更したい旨説明し、了承を得た。

(変更後の章立て)	第1章	地域エネルギービジョン策定の趣旨
	第2章	内灘町の地域特性
	第3章	エネルギー消費構造
	第4章	新エネルギーの賦存量・利用可能量
	第5章	省エネルギー可能量
	第6章	基本理念・基本方針
	第7章	新エネルギー・省エネルギー導入計画
	第8章	推進方策・推進体制

《Q1》一般家庭の太陽光発電の導入目標について、今の目標は新築のみということになっているが、既築住宅への太陽光発電の導入目標も入れたら良いのでは。

【A1】既築住宅への目標値も加えたい。

《Q2》基本理念の『太陽と笑顔のまちづくり』は何かを引用したのか。

【A2】これは町長の環境政策の公約として発表した標語をそのまま使用した。笑顔という中には、産学官民の学である金沢医科大学と関連して、健康であれば笑顔というような観点も入っていると考えている。

《Q3》基本理念について、『豊かな自然を活かした笑顔のまちづくり』とするのはどうか。

【A3】良い案であるので、これも候補の一つとして最終的には次回の委員会で検討したい。また、他にも良いアイデアがあれば後日でも構わないので提案して戴きたい。

★第7章 新エネルギー・省エネルギーの導入計画について

《Q1》省エネ行動の徹底に関して、「環境家計簿」や「省エネチェックシート」の記帳とあるが、石川県で推進している県民エコライフ大作戦以外で内灘町独自ものを作って取り組んでいくということか。

【A1】石川県で実施している県民エコライフ大作戦は、夏季もしくは今年度から冬季も行われるが、期間が1～2ヶ月と限定されているので、内灘町としてはそれ以外の時期にも啓発していくことを考えている。対象や取り組み方については、今後検討していきたい。

《Q2》省エネチェックシートは、特別なものを作るというより、基本的には今あるものを内灘町で利用していこうという考え方でよいか。

【A2】内灘町連合女性会で以前からエコチェック10という、省エネ行動を10項目掲載したものを作っていただいているので、それらを活用していきたいと考えている。

《Q3》本委員会で視察した神戸市では、CO₂の削減目標の中に市民・事業者はもちろんだが電力会社の削減目標も加味していた。本ビジョンにおいても、電力に関わるCO₂排出係数は北陸電力の目標値を参考としたほうが良いのではないか。

【A3】北陸電力の環境目標として、京都議定書の約束期間（2008～2012年度）の平均で、CO₂排出係数を0.32 kg-CO₂-kwhと設定している。本ビジョンの2008年度のCO₂排出係数は0.432 kg-CO₂-kwh（2004～2006年度実績平均）を用いているので、本ビジョンの目標年次の2015年、2020年においては、町民・事業者の努力分と電力会社の努力分に分けて示す方向で検討したい。

★意見

省エネルギーの導入の中で重点プロジェクトとして自転車シェアリングがあがっているが、そのためには自転車用の安全マップが必要だ。自転車の貸出基地としては役場、内灘駅、金沢医科大学などが中心となると考えられるが、早く現実のものとなるよう町の方針を提示してほしい。